



2022年12月期

第2四半期

決算補足説明資料

2022年8月3日

荏原実業株式会社



目次

1. 2022年12月期 第2四半期 サマリー

第2四半期 サマリー

2. 2022年12月期 第2四半期 決算概要

第2四半期 業績ハイライト

第2四半期 決算のポイント

第2四半期 業績ハイライト（セグメント別）

セグメント別状況（前年同期比）

売上高・売上総利益・受注高・受注残高の推移

3. 2022年12月期 業績予想

2022年12月期 業績予想

4. 各セグメントの動向と戦略

各セグメントの動向と戦略

- ・メーカー事業（環境関連）
- ・エンジニアリング事業（水処理関連）
- ・商社事業（風水力関連）

5. 株主還元

株主還元

6. 資料編

事業概要

セグメント別事業概要

- ・メーカー事業（環境関連）
- ・エンジニアリング事業（水処理関連）
- ・商社事業（風水力関連）

感染症対策製品の需要動向

トピックス

- ・災害停電時マンホールポンプ起動支援システム
- ・クリーンエネ・ハウス

業績推移

- ・過去10年間
- ・5か年一覧表（第2四半期）
- ・5か年一覧表（通期）

2022年12月期 第2四半期 サマリー

市場環境

- 上下水道設備の更新需要、防災・減災需要は引き続き堅調
- 民間設備投資に回復の兆しあり
- 感染症対策製品の需要は、補助金範囲の縮小により減少
- 資機材の供給不足や原材料価格の上昇による市況悪化の懸念あり

第2四半期決算のポイント

- 売上高、売上総利益減少の主要因は、感染症対策製品の需要減少
- 資機材の不足等により売上計上遅れが発生
- 受注高の増加と売上計上遅れにより受注残高は大きく増加

2022年12月期業績予想⇒変更なし

- 売上高、売上総利益減少の主要因である感染症対策製品の需要減少は計画に織り込み済み
- 受注残高は全てのセグメントで前年同期を上回り、第3四半期以降売上計上へ
- 資機材の供給不足や原材料価格上昇の通期業績への影響を最小化

株主還元の基本方針

- 配当性向35%を目安とした安定的・継続的配当を実施
- 資金需要・株価水準等を考慮しながら、機動的に自己株式を取得

2022年12月期 第2四半期 決算概要

第2四半期 業績ハイライト

売上高

168億円 (△ 11.3%)

受注高

171億円 (+ 13.0%)

営業利益

22億円 (△ 32.1%)

受注残高

251億円 (+ 32.9%)

四半期純利益

17億円 (△ 33.3%)

(単位：百万円)	2020/12 2Q		2021/12 2Q		2022/12 2Q		前年同期比	
		構成比(%)		構成比(%)		構成比(%)	増減率(%)	増減額
売上高	16,087	100.0	19,013	100.0	16,864	100.0	△ 11.3	△ 2,148
売上総利益	4,802	29.8	6,463	34.0	5,438	32.2	△ 15.9	△ 1,025
販管費	2,819	17.5	3,191	16.8	3,215	19.1	+ 0.8	+ 23
営業利益	1,982	12.3	3,271	17.2	2,222	13.1	△ 32.1	△ 1,049
経常利益	2,062	12.8	3,334	17.5	2,309	13.7	△ 30.7	△ 1,025
四半期純利益	1,428	8.9	2,555	13.4	1,703	10.1	△ 33.3	△ 851
受注高	15,533	-	15,184	-	17,151	-	+ 13.0	+ 1,966
受注残高	18,424	-	18,899	-	25,123	-	+ 32.9	+ 6,224

第2四半期 決算のポイント

市場環境

- 上下水道設備の更新需要、雨水排水施設などの防災・減災需要は引き続き堅調
- コロナ禍で落ち込んだ民間設備投資に回復の兆しが見られる
- 感染症対策製品の需要は、補助金範囲の縮小により減少
- 資機材の供給不足や原材料価格の上昇による市況悪化の懸念あり

売上高

前年同期比
△**21.4**億円 (△11.3%)

- メーカー事業の感染症対策製品の大幅な減少が売上高減少の主要因
- エンジニアリング事業、商社事業では資機材の供給不足等により売上計上時期に遅れが生じ、売上高は微増にとどまる

売上総利益

前年同期比
△**10.2**億円 (△15.9%)

- メーカー事業の感染症対策製品の大幅な減少が売上総利益減少の主要因
- エンジニアリング事業、商社事業では売上高増加に伴い売上総利益も微増

営業利益

前年同期比
△**10.4**億円 (△32.1%)

- 売上総利益の減少によって営業利益も減少
- 販管費はほぼ前年同期並み

受注高

前年同期比
+19.6億円 (+13.0%)

- 全てのセグメントで増加
- メーカー事業では半導体、水産関連需要が増加
- エンジニアリング事業では上下水道設備の更新、防災・減災需要が増加
- 商社事業では納期の長期化を見据え、前倒し受注あり

受注残高

前年同期比
+62.2億円 (+32.9%)

- 全てのセグメントで増加
- 受注高の増加と売上計上遅れにより大きく増加

第2四半期 業績ハイライト（セグメント別）

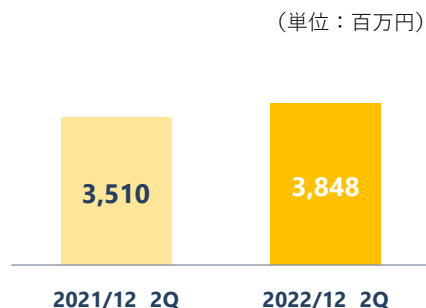
(単位：百万円)			2020/12 2Q	2021/12 2Q	2022/12 2Q	前年同期比	
						増減率(%)	増減額
 メーカー事業 (環境関連)	受注高	3,334	3,510	3,848	+9.6	+337	
	売上高	2,901	5,591	3,306	△40.9	△2,285	
	売上総利益	1,175	2,494	1,416	△43.2	△1,077	
 エンジニアリング事業 (水処理関連)	受注高	7,380	6,506	6,813	+4.7	+307	
	売上高	8,000	8,949	9,018	+0.8	+68	
	売上総利益	2,371	2,825	2,838	+0.5	+13	
 商社事業 (風水力関連)	受注高	4,817	5,167	6,489	+25.6	+1,321	
	売上高	5,185	4,472	4,539	+1.5	+67	
	売上総利益	1,255	1,143	1,183	+3.4	+39	

セグメント別状況（前年同期比）

メーカー事業（環境関連）

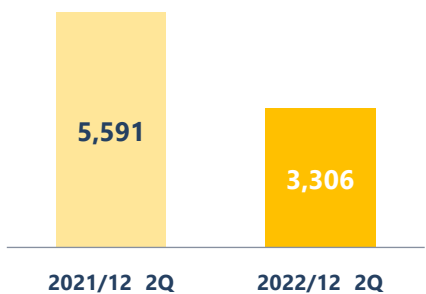
受注高

+3.3億円
(+9.6%)



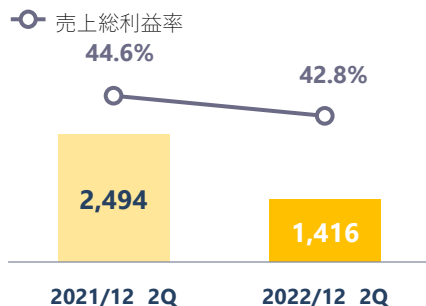
売上高

△22.8億円
(△40.9%)



売上総利益

△10.7億円
(△43.2%)



受注高

分野	増減要因	増減
計	● 半導体関連需要が増加	+322
省エネ・創エネ	● 蓄電池需要が増加	+109
脱臭	● 前年同期受注の大型生物脱臭案件の反動減	△249
水処理プラント	● 水産関連需要が増加、化学工場向け大型排水プラント受注	+444
医療	● 補助金範囲縮小により感染症対策製品の需要減少	△288

売上高

分野	増減要因	増減
計	● 公共向け更新需要は谷間、半導体関連需要が増加	+80
省エネ・創エネ	● 供給面での制約により遅れが生じているものの、蓄電池売上が増加	+18
脱臭	● 前年同期受注の大型生物脱臭案件が寄与	+152
水処理プラント	● 前年同期売上の化学工場向け大型排水プラント等の反動減	△431
医療	● 補助金範囲縮小により感染症対策製品の需要減少	△2,104

売上総利益

- 医療分野の売上高減少に伴い売上総利益が減少、セグメント全体の売上総利益率も低下

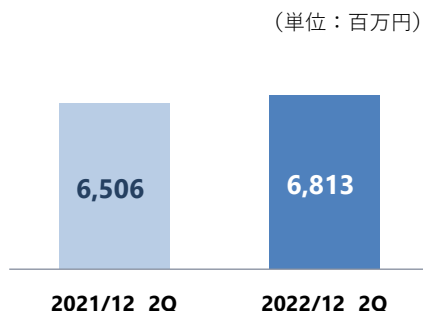
セグメント別状況（前年同期比）



エンジニアリング事業（水処理関連）

受注高

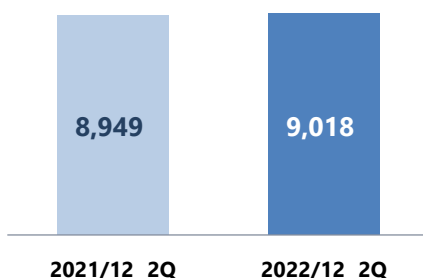
+3.0億円
(+4.7%)



- 市場環境は引き続き堅調に推移しているものの、資機材の供給不足によって発注時期が遅延となる案件あり

売上高

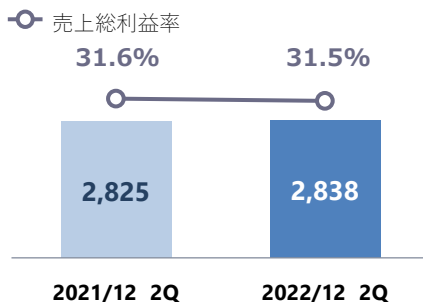
+0.6億円
(+0.8%)



- 前年同期を上回るものの、資機材の納期長期化による工事進捗の遅れが発生

売上総利益

+0.1億円
(+0.5%)



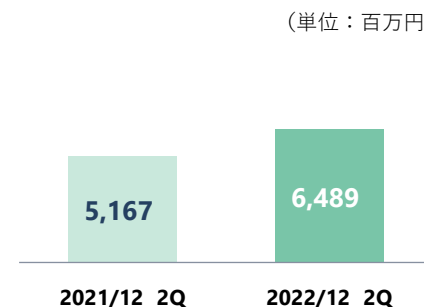
- 原材料価格上昇の影響を最小限に留める



商社事業（風水力関連）

受注高

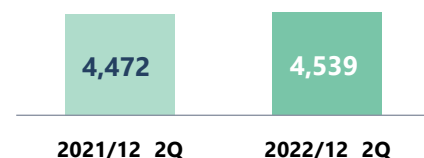
+13.2億円
(+25.6%)



- 民間設備投資に回復の兆しあり
- 納期の長期化を見据え、発注時期前倒しの動きあり

売上高

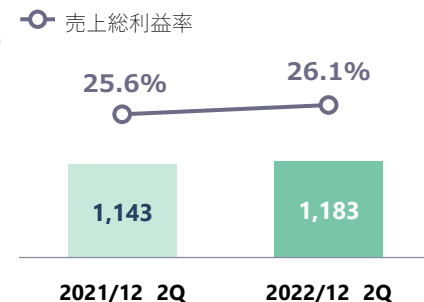
+0.6億円
(+1.5%)



- 機器の納期長期化により予定通りに売上計上できず、受注残高増加

売上総利益

+0.3億円
(+3.4%)



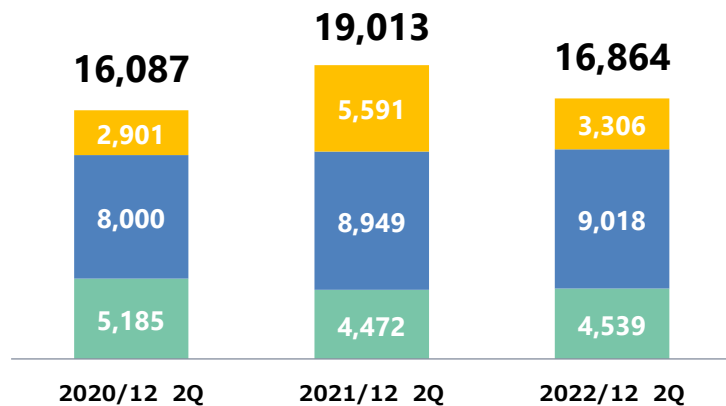
- 選別受注、原価低減活動、業務効率化などによる売上総利益率の上昇

売上高・売上総利益・受注高・受注残高の推移

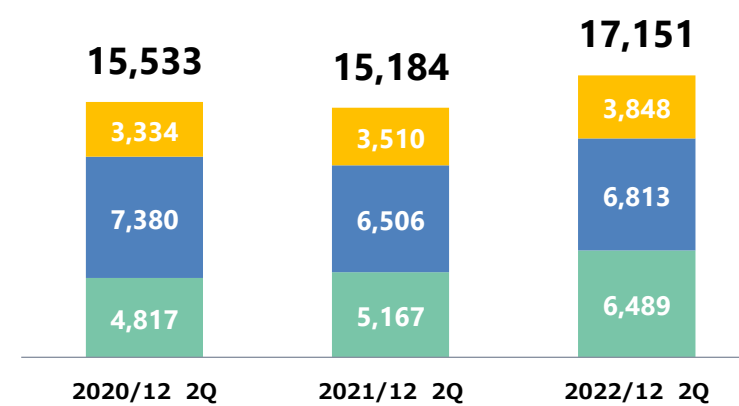
■ メーカー ■ エンジニアリング ■ 商社

(単位：百万円)

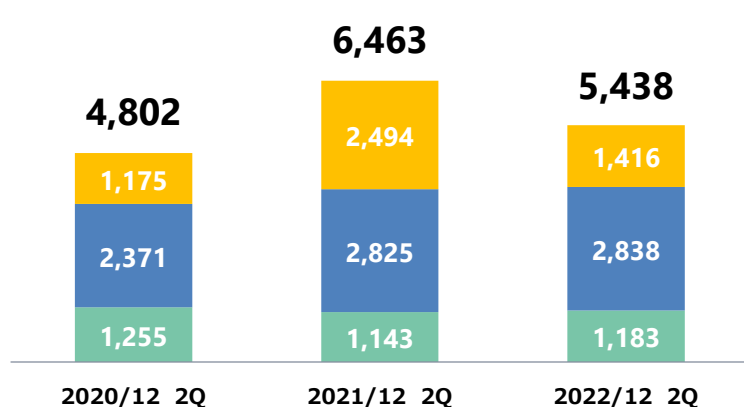
売上高の推移



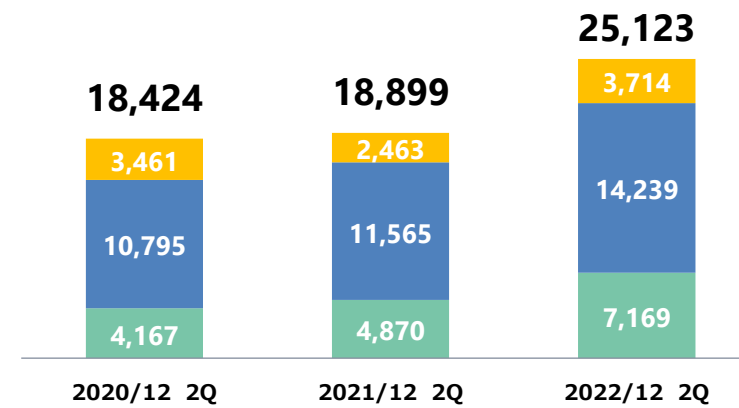
受注高の推移



売上総利益の推移



受注残高の推移



2022年12月期 業績予想

2022年12月期 業績予想 ⇒ 期初計画から変更なし

概況

- 受注高の2Q進捗率は過去5年間の平均進捗率を上回るものの、売上高は平均進捗率を下回る
- 受注残高は前年同期を62.2億円（32.9%）上回っており、3Q以降の売上計上によって2Qまでの売上計上遅れを取り戻す
- 資機材の供給不足、原材料価格の上昇はその影響を最小化

セグメント別の状況

メーカー事業（環境関連）

- 感染症対策製品の需要減少は計画に織り込み済み
- 半導体、水産関連需要は堅調に推移
- 蓄電池事業は供給面での制約により停滞していたが、3Q以降本格化
- 受注残高は前年同期比50%増

エンジニアリング事業（水処理関連）

- 上下水道設備更新、防災・減災需要は引き続き堅調に推移
- 資機材の納期長期化による売上計上時期の遅れを最小化
- 受注残高は前年同期比23%増

商社事業（風水力関連）

- 民間設備投資に回復の兆しあり
- 前年同期比47%増の受注残高を背景に計画通りの売上計上へ

第2四半期と通期事業計画の比較

(単位：百万円)			22/12月期 事業計画	22/12月期 2Q実績
受	注	高	36,000	17,151
売	上	高	35,000	16,864
売	上	総利益	10,400	5,438
営	業	利益	3,800	2,222

第2四半期までの通期業績に対する進捗率 【過去5年平均進捗率との比較】

			過去5年間の 平均進捗率	22/12月期 2Q進捗率
受	注	高	43%	48%
売	上	高	55%	48%
売	上	総利益	57%	52%
受	注	残高	166億円	251億円

進捗率 = 第2四半期実績 ÷ 通期実績（当期は計画値）

2022年12月期 業績予想 ⇒ 期初計画から変更なし

増収減益

- メーカー事業では蓄電池等の省エネ・創エネ分野で需要増加を見込むものの、医療分野の需要は減少
- エンジニアリング事業は上下水道設備の更新需要、防災・減災需要が引き続き堅調に推移
- 商社事業は民間設備投資の緩やかな回復を見込む

(単位：百万円)	2020/12月期 実績		2021/12月期 実績		2022/12月期 計画		前期比	
		構成比(%)		構成比(%)		構成比(%)	増減率(%)	増減額
受注高	34,000	-	35,014	-	36,000	-	+2.8	+986
売上高	30,250	100.0	32,485	100.0	35,000	100.0	+ 7.7	+ 2,515
売上総利益	9,010	29.8	10,489	32.3	10,400	29.7	△ 0.8	△ 89
販管費	5,795	19.2	6,507	20.0	6,600	18.9	+ 1.4	+ 93
営業利益	3,214	10.6	3,982	12.3	3,800	10.9	△ 4.6	△ 182
経常利益	3,363	11.1	4,110	12.7	3,950	11.3	△ 3.9	△ 160
四半期純利益	2,342	7.7	3,159	9.7	2,800	8.0	△ 11.4	△ 359
1株当たり配当金	55円	-	85円	-	85円	-	-	-

※1株当たり配当金については、2021年7月1日付で1：2の株式分割を実施、遡及修正を行った数値を掲載しています。

各セグメントの動向と戦略

各セグメントの動向と戦略



メーカー事業（環境関連）計画

受注高・売上高

- 感染症対策製品の需要減少
- 蓄電池の認証取得により省エネ・創エネ事業が本格化
- 計測分野で公共向け更新案件増加、半導体向け需要も増加

売上総利益

- 売上高の減少に伴い売上総利益率も減少
- 医療分野減少の影響大、省エネ・創エネ分野は増加

メーカー事業 (百万円)	2021/12	2022/12 計画		前期比	
		構成比(%)	増減率(%)	増減額	
受注高	7,240	7,500	-	+ 3.6	+ 260
売上高	8,563	7,500	100.0	△ 12.4	△ 1,063
売上総利益	3,803	3,150	42.0	△ 17.2	△ 653



エンジニアリング事業（水処理関連）計画

受注高

- 上下水道更新案件、防災・減災需要は堅調に推移

売上高

- 受注残高を背景に増加

売上総利益

- 前期並みの売上総利益率を確保し、売上高増加に伴い売上総利益増加

エンジニアリング事業 (百万円)	2021/12	2022/12 計画		前期比	
		構成比(%)	増減率(%)	増減額	
受注高	17,435	17,500	-	+0.4	+ 65
売上高	14,683	16,500	100.0	+ 12.4	+ 1,817
売上総利益	4,403	4,950	30.0	+ 12.4	+ 547



商社事業（風水力関連）計画

受注高

- 民間設備投資の緩やかな回復を見込む

売上高

- 受注残高を背景に増加

売上総利益

- 売上高は増加するものの、前期高利益率案件無くなる

商社事業 (百万円)	2021/12	2022/12 計画		前期比	
		構成比(%)	増減率(%)	増減額	
受注高	10,338	11,000	-	+ 6.4	+ 662
売上高	9,238	11,000	100.0	+ 19.1	+ 1,762
売上総利益	2,281	2,300	20.9	+ 0.8	+ 19



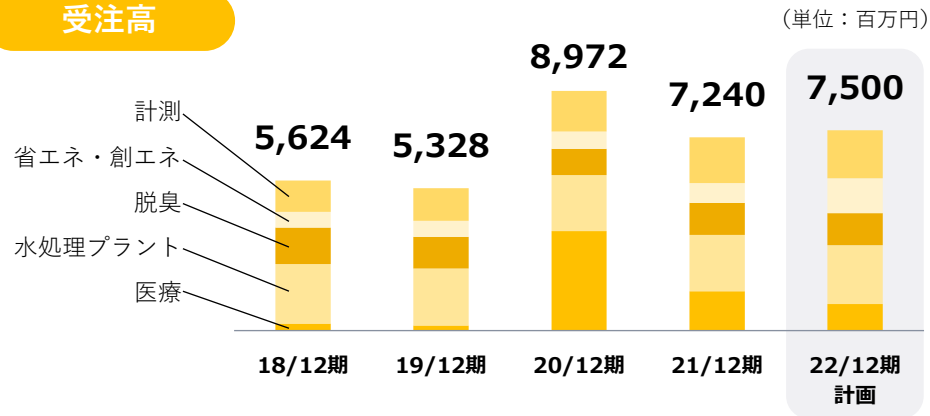
各セグメントの動向と戦略 ～メーカー事業（環境関連）～

成長の核とすべく、ニッチ戦略と事業領域の拡大を進める

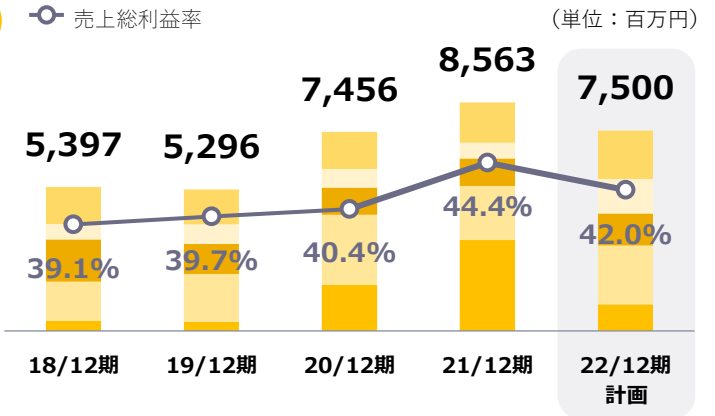
業績動向

- 半導体向け需要は堅調に推移
- ZEB市場へ進出
- 民間工場の設備投資回復には時間がかかる。水産関連設備投資は回復の兆しあり
- 感染症対策製品の需要減少

受注高



売上高



※各分野の推移詳細は、本冊子末の「セグメント別業績推移(通期)」をご参照ください。

当社の戦略

1. 新製品の投入

- 蓄電池の認証取得により、ZEB市場へ本格参入
- ウィズ/アフターコロナに対応した感染症対策製品の投入

2. 現有製品群のブラッシュアップ

- 実績のある製品のより一層の収益性向上
- 「高度処理」「省エネ」「AI/IoT」「環境負荷軽減」「安心安全」のニーズに対応する形で競争力を強化

3. メンテナンス・サービスの強化

- 外部環境に左右されないメンテナンス・サービスを収益基盤として育成



各セグメントの動向と戦略 ～メーカー事業（環境関連）～

計測分野

事業概要

- オゾンモニタを中心とする計測機器の製造及び販売
- 主な納品先は、上下水道の高度処理施設や半導体工場（国内トップシェア）
- メンテナンスの比率が高く、業績は安定

事業環境

- 半導体関連市場の積極的な設備投資は継続し、オゾンモニタの需要は旺盛。エンドユーザーの需要に合わせた見込注文の発生により受注が先行
- 原材料の供給不足により、製品のリードタイムが長期化
- 足元では原材料の調達コストが上昇。利益圧縮の懸念あり

事業戦略

- 安定供給の維持と、調達コスト上昇分の製品価格への反映
- 既存顧客に対する需要の掘り起こし、海外向けの新たな販売チャネル確立等により売上を拡大
- 複数の研究開発施策の事業化



高精度オゾンモニタ



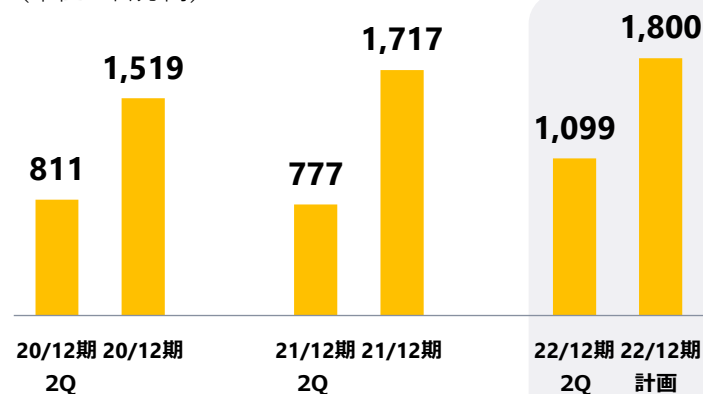
オゾン検知器



多項目水質計器

計測分野 受注高

（単位：百万円）





各セグメントの動向と戦略 ～メーカー事業（環境関連）～

省エネ・創エネ分野

事業概要

- 太陽光発電パネルや蓄電システム等、ZEH関連製品の開発及び販売
- 高効率のターボブロワを中心とする送風機の製造及び販売
- MMR空調機・除湿機等、ZEB関連製品の開発、設計及び施工

事業環境

- 脱炭素化の加速や FIT制度の終了、災害停電時等への備えを背景に、様々な領域で蓄電需要が伸長
- 原材料の調達コストが上昇
- オフィスビルのZEB化にあたり、電力消費の約48%を占める空調機の省エネ意欲が追い風

事業戦略

- 蓄電池は、建材商社・ハウスメーカーと連携。自治体向けにもサービスを展開。当社事業へ応用展開
- 省エネブロワは、顧客ターゲットに基づく営業活動を継続。アフターメンテナンスを強化
- MMR空調機及び除湿機は、スペックイン（設計段階での当社製品の採用）を推進。性能向上とコストダウンに向けた改良を継続



可搬型蓄電池

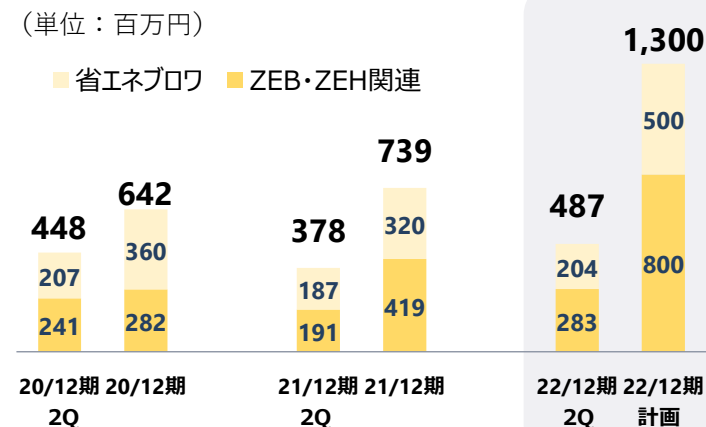


MMR空調機



省エネブロワ（民間向け）

省エネ・創エネ分野
受注高





各セグメントの動向と戦略 ～メーカー事業（環境関連）～

脱臭分野

事業概要

- 腐植質由来の産業用脱臭剤を中心とする脱臭剤・脱臭装置の製造及び販売
- 主な販売先は、下水処理場と工場等の除害施設

事業環境

- 大型案件の反動減により受注額は前年同期比で減少するも、産業用脱臭剤の交換需要は安定的に推移
- 雨水地下貯留施設に適した脱臭フィルタ、バイオマス設備向け脱硫装置など、気候変動対応製品群に成長余地あり
- 新型コロナ、ウクライナ情勢、円安等の影響により、足元での原材料の調達コストは上昇

事業戦略

- 製品の安定供給を確保し、脱臭フィルタの内製化等によるコスト低減を目指す
- 脱臭剤、脱臭フィルタは、競合品と比較して製造時のCO₂発生量が低いことをアピールし、脱炭素対応需要を取り込む
- 生物脱硫装置は、プラントメーカーや再エネコンサルなど有力な販売チャネルの強化に注力



ボエフ（腐植質脱臭剤）



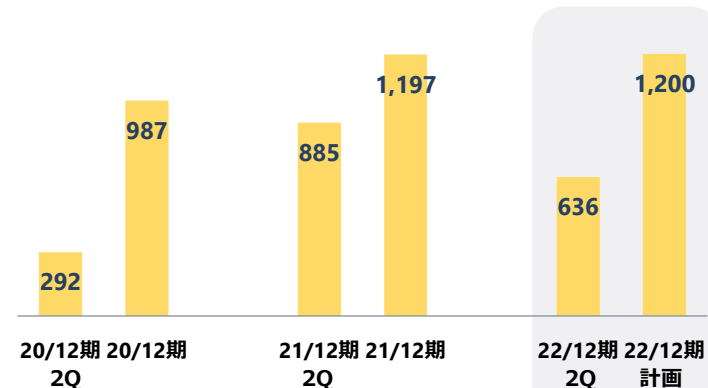
EKOフィルタ



生物脱硫装置

脱臭分野 受注高

（単位：百万円）





各セグメントの動向と戦略 ～メーカー事業（環境関連）～

水処理プラント分野

事業概要

- 産業用水設備・産業排水処理施設の設計及び施工
- 養殖施設の設計及び施工、養殖業・栽培漁業向け装置の製造及び販売
- 噴水等、水景施設の設計及び施工

事業環境

- 用排水設備への投資先送りは一段落し、回復に転じる見込み
- 資機材不足による工期の長期化で、単年度予算の客先における案件の期ずれ等が発生
- ランニングコストの削減や省人／省エネ化の需要は中長期的には拡大傾向
- 水産業界では、老朽化した公共の水産関連施設の改修需要が拡大傾向

事業戦略

- 既存の商材に加え、膜処理を用いた水リサイクルシステムなどの提案で、脱炭素需要に対応
- 水処理×IoT/AI領域における事業機会の探索
- 陸上養殖システムの黎明期から蓄積した技術をもとに、新閉鎖循環システム構築へ向けた取り組みを強化



排水処理設備



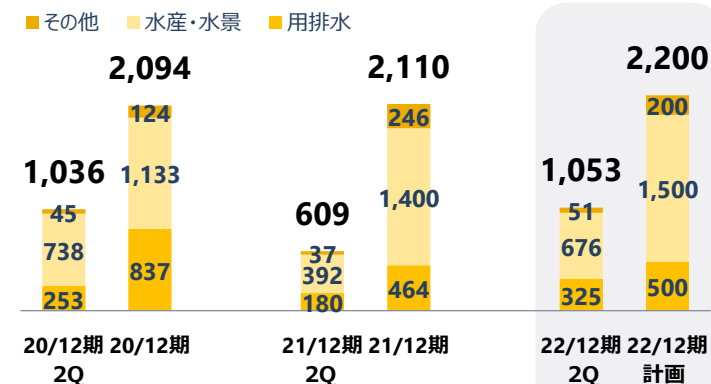
海水電解殺菌装置



エコスイング（砂ろ過器）

水処理
プラント分野
受注高

(単位：百万円)





各セグメントの動向と戦略 ～メーカー事業（環境関連）～

医療分野

事業概要

- 感染症対策製品の開発、設計、販売及びサービス
- 主に、全国の医療機関及び社会福祉施設へ納入
- 簡易陰圧装置は、2003年の販売開始以降、400か所超の納入実績を有する
- 空気清浄除菌脱臭装置（FDSシリーズ）は、当社がフクダ電子株式会社より受託し、OEM供給

事業環境

- 一般病床向けの陰圧装置は需要が一巡
- 感染症対策製品に対する補助金範囲は縮小
- 感染症との共存社会に向けた新たな需要の発生
- 原材料の供給不足により、製品のリードタイムの長期化が懸念



簡易陰圧装置



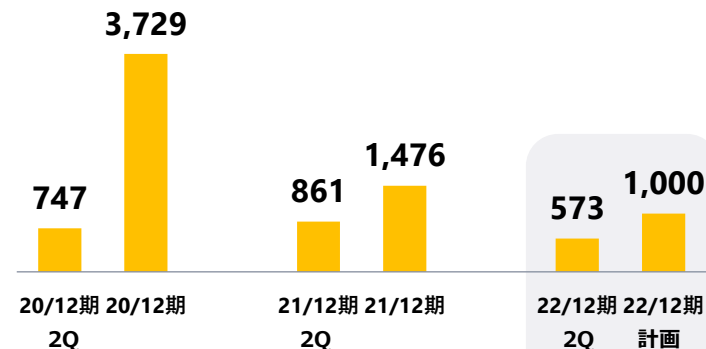
空気清浄除菌脱臭装置
(医療従事者向け)

事業戦略

- ウイズ／アフターコロナに対応した新製品の投入
- 累積納入台数を活かしたメンテナンス・サービス事業の拡大
- 災害医療分野への進出
- 調達マネジメントの最適化で、製品の安定供給を維持

医療分野 受注高

(単位：百万円)





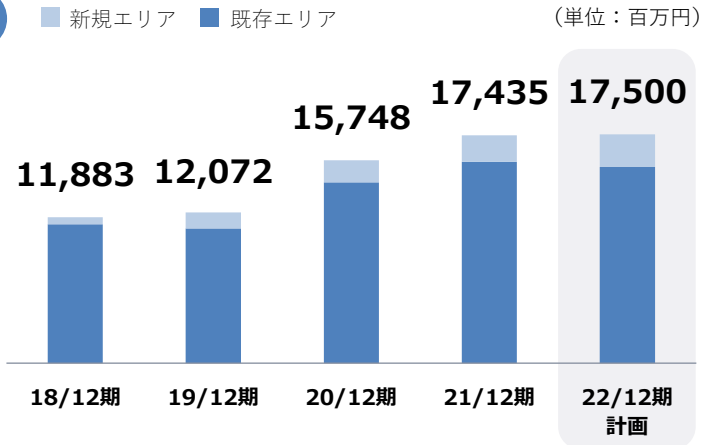
各セグメントの動向と戦略 ～エンジニアリング事業（水処理関連）～

顧客軸・製品軸の両面から、事業領域を開拓

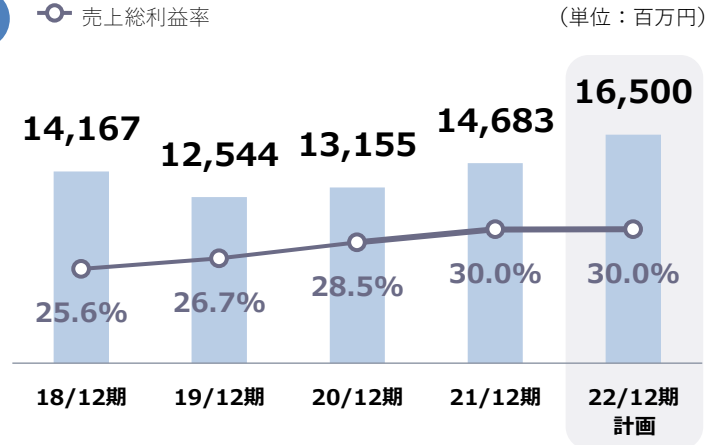
業績動向

- 上下水道設備の更新需要、防災・減災需要は引き続き堅調に推移
- 売上高は受注残高を背景に増加

受注高



売上高



当社の戦略

1. 選別受注、積算技術の向上、原価意識の徹底

- 施工能力の向上・価格競争力の向上に向けた協力会社との連携強化

2. 実績の少ないエリアでの受注活動の強化

- 北海道地区で防災・減災関連の大型案件獲得

3. 防災・減災需要への対応

- 国土強靱化基本計画に基づく防災・減災需要に対応した技術・製品の提供



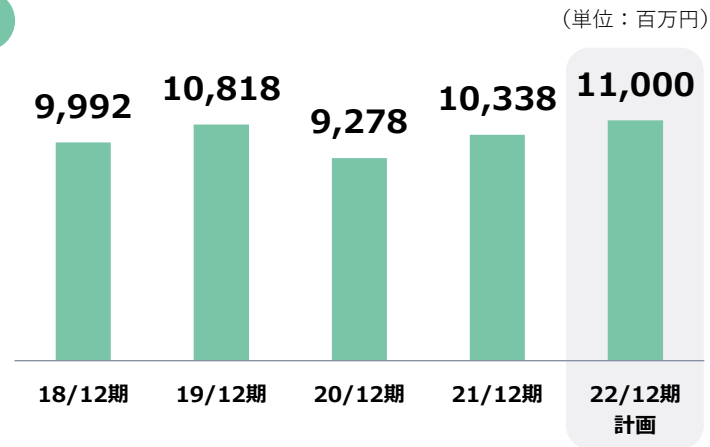
各セグメントの動向と戦略 ～商社事業（風水力関連）～

創業以来の礎である収益基盤を着実に強化

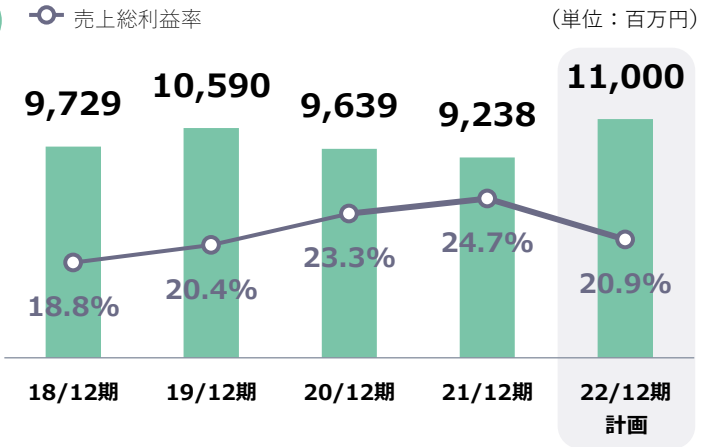
業績動向

- 民間設備投資は回復傾向
- 売上高は受注残高を背景に増加

受注高



売上高



当社の戦略

1. ゼネコン・サブコン・メーカーとの連携強化

- 設計段階からの営業強化とコスト競争力の向上

2. 多様な顧客層へのアプローチ

- 的確な対応と提案営業強化
- 豊富な納入実績を活用した新規顧客の開拓

株主還元

株主還元

基本方針

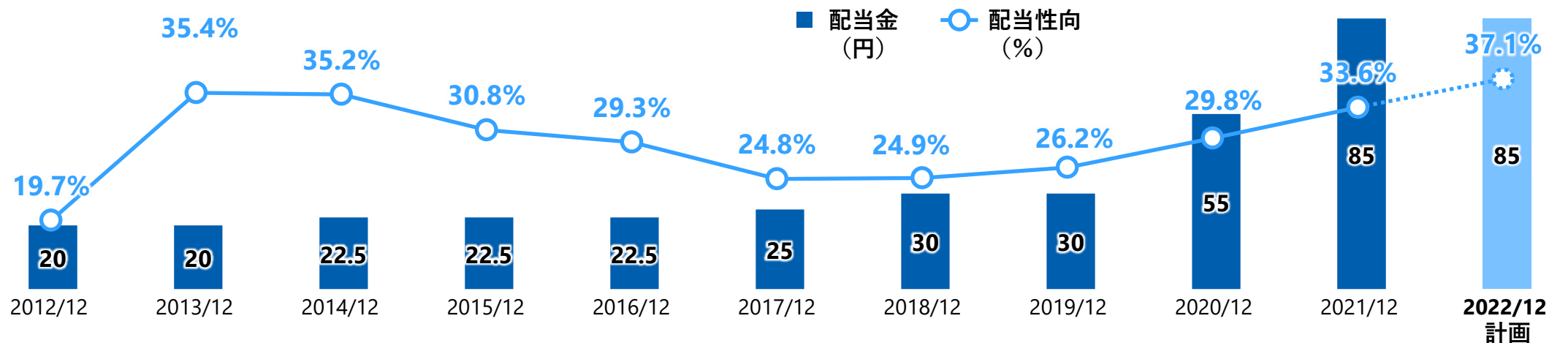
- 連結配当性向35%を目安に安定的な配当を継続的に実施
- 利益還元の一つとして、資金需要・株価水準等を考慮しながら、機動的に自己株式取得を実施

配当

		2020/12 実績	2021/12 実績	2022/12 予想
配当金	年間	55.0円	85.0円	85.0円
	中間	15.0円	37.5円	42.5円
	期末	40.0円	47.5円	42.5円
配当性向		29.8%	33.6%	37.1%

※2021年7月1日付で1：2の株式分割を実施、遡及修正を行った数値を掲載しています。

1株当たり年間配当金の推移



自己株式取得額

2.7億円

5.7億円

10億円



資料編

事業概要

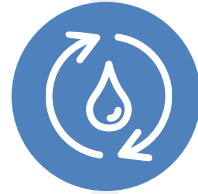
3つの事業セグメント



メーカー事業 (環境関連)

環境関連製品・設備の開発・製造・販売

- 自社製品を扱う最も注力している事業
- 利益率が高く、売上総利益構成比50%を目標



エンジニアリング事業 (水処理関連)

上下水道設備の設計・施工・メンテナンス

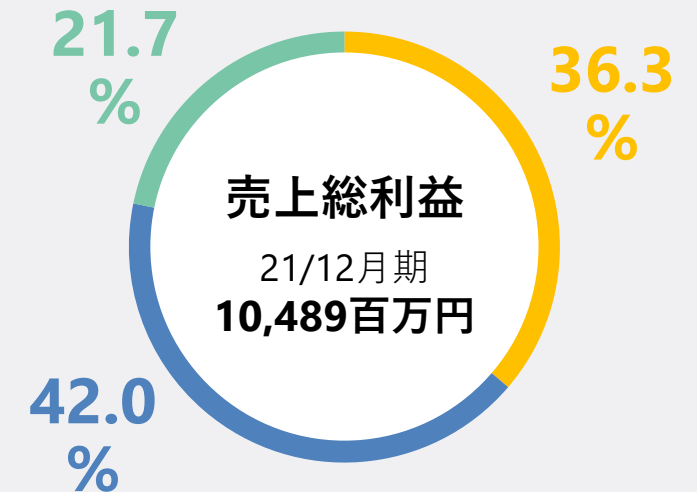
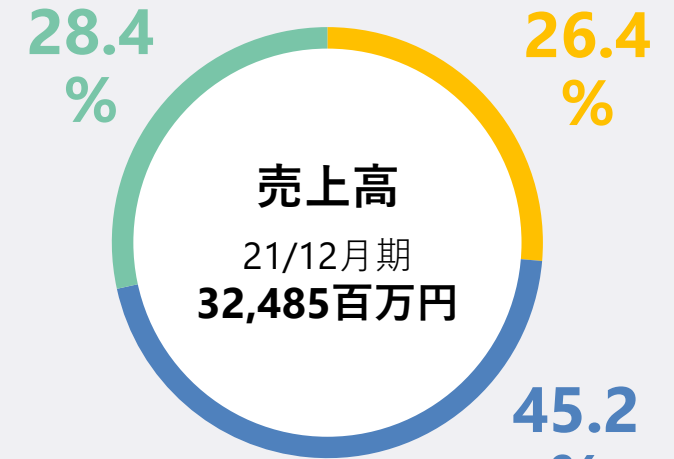
- 更新・修繕需要や防災需要は堅調
- 事業領域を開拓・拡大



商社事業 (風水力関連)

荏原製作所グループ製品を中心としたポンプ・送風機・空調冷熱機器等の代理店販売

- 主力のポンプのほか、新商材の取扱いにも注力
- 再開発案件に対応



セグメント別事業概要 メーカー事業（環境関連）



メーカー事業（環境関連）

環境関連製品・設備の
開発・製造・販売

連結に占める割合

26.4
%

売上高
21/12月期
8,563
百万円

連結に占める割合

36.3
%

売上総利益
21/12月期
3,803
百万円

社会からの要請：
水と空気における
専門性の高い製品へのニーズ



コンセプト

水と空気の分野における
ニッチで専門性の高い製品
を市場に供給

競争力の高い
オリジナル製品を供給
高い利益率を誇る

多様な顧客属性・製品ラインナップ

計測	高精度 オゾン モニタ		半導体用 オゾン モニタ	
省エネ ・ 創エネ	住宅用 蓄電池		省エネ プロフ	
脱臭	腐植質 脱臭剤		生物 脱硫装置	
水処理 プラント	高効率 砂ろ過器		陸上養殖 システム	
医療	簡易陰圧 装置		オゾン 室内消毒 装置	

セグメント別事業概要 メーカー事業（環境関連）

分野	事業内容	主要顧客	製品例
計測	<ul style="list-style-type: none"> 主に水処理で使われる計測機器の製造及び販売 半導体分野向けの計測機器の製造及び販売 	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設（高度浄水施設、下水処理施設） 民間工場（半導体、液晶、食品など） 	<p>高精度オゾンモニタ</p>  <p>半導体用オゾンモニタ</p> 
省エネ・創エネ	<ul style="list-style-type: none"> ZEB・ZEH関連製品の開発、設計、施工及び販売 省エネプロワを中心とする送風機の製造及び販売 	<ul style="list-style-type: none"> 民間企業（空調機メーカー、オフィスビルなど） 民間工場（食品、飲料、製紙、化学など） 	<p>住宅用蓄電池</p>  <p>省エネプロワ</p> 
脱臭	<ul style="list-style-type: none"> 産業用脱臭剤を中心とする脱臭剤・装置の製造及び販売 生物脱臭・脱硫装置の設計、製作及び販売 	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設（下水処理施設、農業集落排水施設） 民間工場（食品、飲料など） 商業施設（除害設備） 	<p>腐植質脱臭剤</p>  <p>生物脱硫装置</p> 
水処理プラント	<ul style="list-style-type: none"> 産業用水設備・産業排水処理施設の設計及び施工 栽培漁業・養殖業及び水景施設向けエンジニアリング 	<ul style="list-style-type: none"> 民間工場（食品、飲料、製紙、化学など） 公共施設（水産試験場など） 	<p>高効率砂ろ過器</p>  <p>陸上養殖システム</p> 
医療	<ul style="list-style-type: none"> 感染症対策、救急災害対策等、医療関連機器の開発及び販売 その他 	<ul style="list-style-type: none"> 医療機関、自治体、中央官庁など 民間企業、民間工場など 	<p>簡易陰圧装置</p>  <p>オゾン室内消毒装置</p> 



セグメント別事業概要 エンジニアリング事業（水処理関連）



エンジニアリング事業 （水処理関連）

上下水道設備の設計・施工・
メンテナンス

売上高

21/12月期
14,683
百万円

連結に占める割合

45.2
%

売上総利益

21/12月期
4,403
百万円

42.0
%

連結に占める割合

上水道施設



河川、湖及び地下水などの取水設備から各種浄水場設備・家庭や事業所などに水を供給する配水設備まで、全ての設備機器・装置の設計・施工・メンテナンスを実施。

下水道施設



汚水を集めて下水処理場へ送る中継ポンプ場から、各種下水処理場設備・処理されたきれいな水を川などへ戻す水処理設備まで、全ての設備機器・装置の設計・施工・メンテナンスを実施。

雨水排水機場施設



台風など集中豪雨による河川の氾濫・溢水などの大きな被害から地域住民の安全な生活を守る設備として全国に展開。施設の雨水排水ポンプ設備及び電気設備の設計・施工・メンテナンスを実施。

マンホールポンプ施設



下水道の普及において欠かせない小規模な汚水中継ポンプ施設の新兵器として全国で活躍しています。設置スペースが取れない場所で採用され、汚水収集槽（マンホール）に水中型ポンプを設置したコンパクトな設備を提供。

クラウド型 監視システム E-Qias Cloud



上下水道関連施設を遠隔監視するシステムを提供。



セグメント別事業概要 商社事業（風水力関連）



商社事業（風水力関連）

荏原製作所グループ製品を中心とした
ポンプ・送風機・空調冷熱機器等の
代理店販売

連結に占める割合

28.4
%

売上高

21/12月期

9,238
百万円

連結に占める割合

21.7
%

売上総利益

21/12月期

2,281
百万円

ポンプ、送風機、空調冷熱機器等の産業機械を
商業ビル等の各種建築物や工場向けに販売



給水ポンプ
ユニット

消火
ポンプ

風水力/空調冷熱/
エネルギー/その他



ファン



破碎機

建築設備・
プラント施設鋼製架台
(スチールストラクチャー)
製作・取付け





感染症対策製品の需要動向

動向

- 一般病床向けの陰圧装置は需要が一巡
- 感染症対策製品に対する補助金範囲は縮小
- 感染症との共存社会に向けた新たな需要の発生
- 原材料の供給不足により、製品のリードタイムの長期化が懸念
- 感染症対策製品は、コロナ前と比較すると依然高い需要水準だが、特需であった前期・前々期より受注高、売上高ともに減少

医療分野 (百万円)	21/12月期 2Q	22/12月期 2Q	前年同期比	
			増減率 (%)	増減額
受注高	861	573	△33.4	△288
売上高	2,693	589	△78.1	△2,104

- ウィズ／アフターコロナに対応した新製品の投入
- 累積納入台数を活かしたメンテナンス・サービス事業の拡大
- 災害医療分野への進出
- 調達マネジメントの最適化で、製品の安定供給を維持

簡易陰圧装置 ACE-2000

ACEシリーズ

新製品

- プレフィルタ、紫外線ランプ、酵素HEPAフィルタのトリプル構造により、設置空間の空気感染リスクを低減
- 従来機ACE-5000から体積比約4割とスリム化し、診察室や小型の病室など狭い空間への適用性が向上
- 後付け可能で、既存の部屋を容易に陰圧環境に



《ACE-2000》

紫外線照射装置

新製品

- 深紫外（UV-C）の紫外線による強力な除菌効果
- 個室病床の除菌作業を1台でカバー
- キャスター付きで簡単に移動・設置が可能



《紫外線照射装置》



トピックス

三菱自動車工業ほか2者と
共同研究中

災害停電時マンホールポンプ起動支援システム

自然災害等により停電が発生した際に、可搬型蓄電池や電動車両と新動力制御盤を利用して、マンホールポンプの復旧作業を支援するシステム

特長

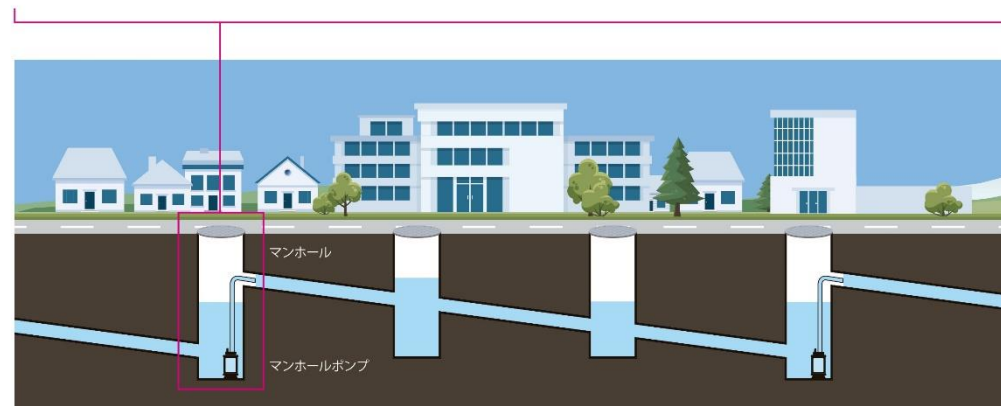
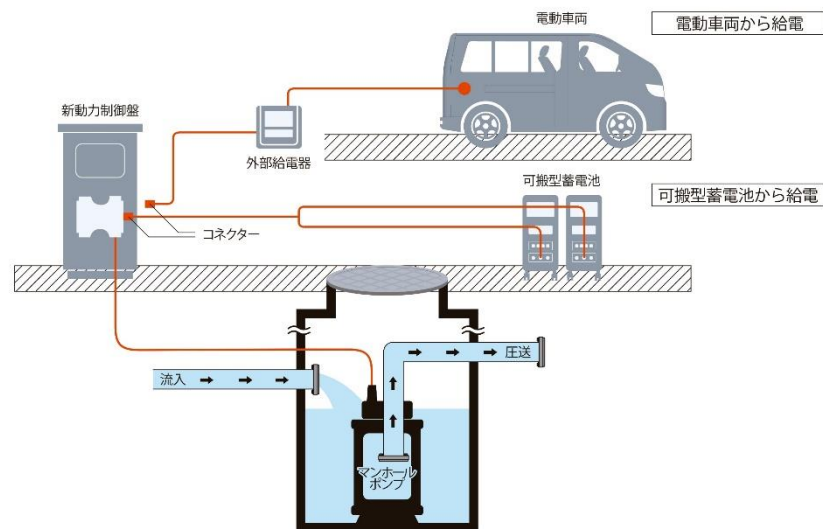
- 可搬型蓄電池または電動車両を電源供給源とするので、機動性が高く、マンホールポンプの柔軟な復旧作業が可能
- 点在するマンホールポンプを同時に起動可能
- 復旧作業員に電気工事士等の資格が不要
- 最大24時間以上の連続運転が可能
- CO2排出量及び騒音を抑制

研究の背景

- 自然災害の多発に伴い、各地でマンホールポンプが停止
- 同時に複数のマンホールポンプが停止した際に、各所での迅速な復旧作業が必要
- 施設・設備の脱炭素に向けた取り組みが必要

スケジュール

- 2021年 10月 共同研究を開始
 - ・三菱自動車工業 (株)
 - ・(公財) 日本下水道新技術機構
 - ・(株) 三水コンサルタント
- 2022年 3月 本システムに関する特許を取得
- 2022年12月 共同研究が終了
- 2023年 4月 販売開始予定





トピックス

カナモトと
共同開発

クリーンエネ・ハウス

株式会社カナモトと荏原実業パワー株式会社が共同開発

荏原実業パワーの蓄電システム「EJ1-HB蓄電池」と、屋根・壁面の薄型太陽光パネルを組み合わせ、独立した発電や受電時の電力削減が可能な仮設ハウス

特長

- 商用電源や電気工事が不要の独立した発電システムであるオフグリッド（単独型）とオングリッド（系統連系型）の両方に対応可能
- 降雪地などの設置環境に合わせて太陽光パネルのカスタムが可能
- 発電・電気使用状況がリアルタイムで確認可能で、省電力計算やCO2排出削減量の管理も容易
- 現場事務所や災害時の拠点として活躍

蓄電システム

- 荏原実業パワー製ハイブリッド蓄電池「EB1-HB115」搭載
- 出力5.9kWで蓄電容量11.5kWh、全負荷対応（100V・200V）
- 容量の10～100%を非常用電源として備えられ、災害時にも電力利用が可能
- 停電時は5秒でバックアップ運転に切り替え

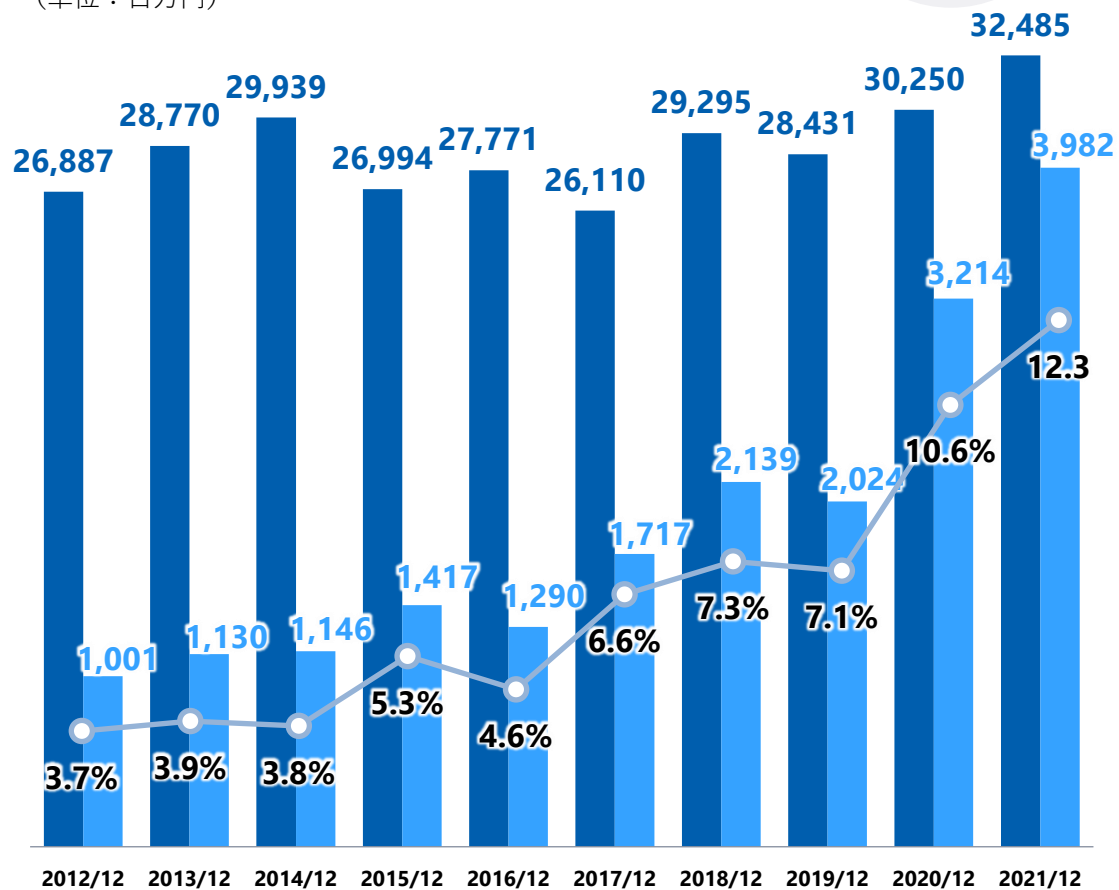


業績推移（過去10年間）

売上高・営業利益の推移

■ 売上高 ■ 営業利益 ○ 営業利益率

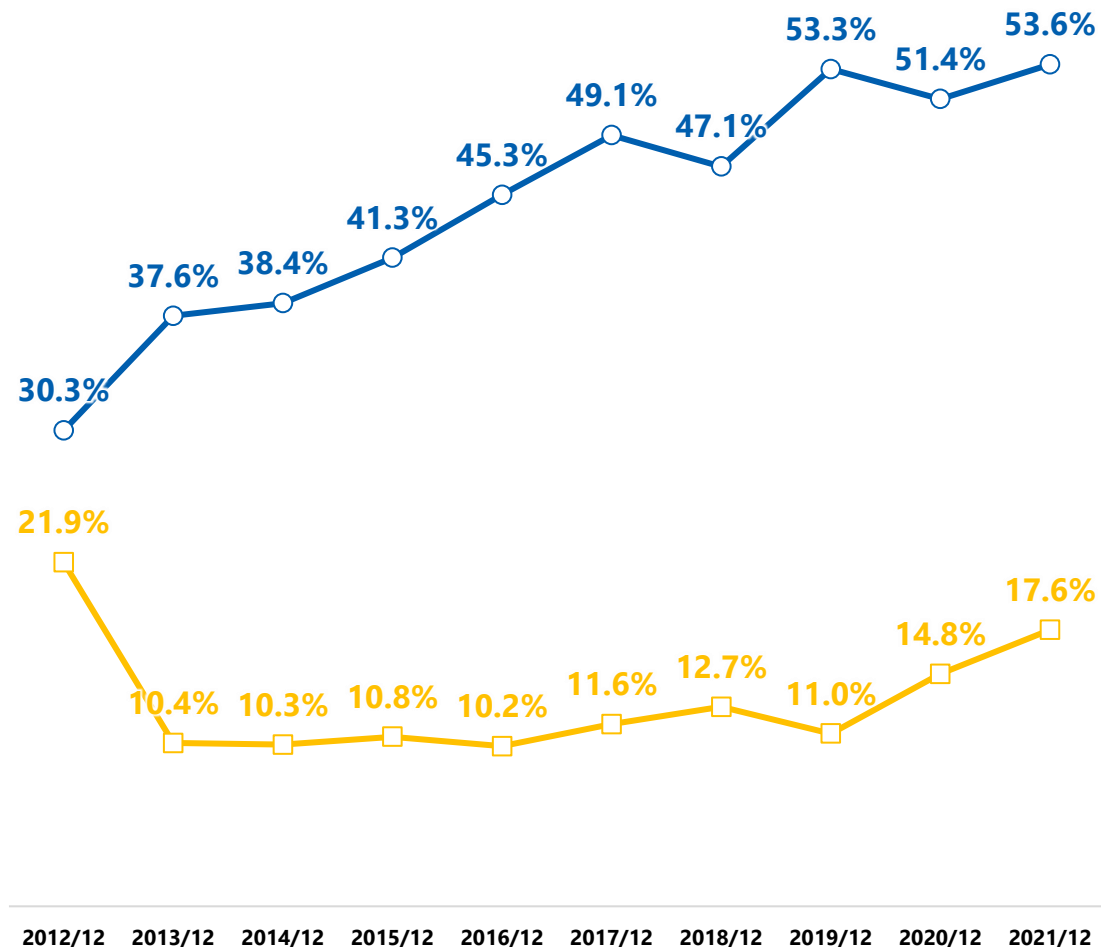
(単位：百万円)



安定した売上高と
増益基調を維持

ROE・自己資本比率の推移

○ 自己資本比率 □ ROE



業績推移 (5か年一覧表、第2四半期)

	(単位：百万円)	18/12月期 2Q		19/12月期 2Q		20/12月期 2Q		21/12月期 2Q		22/12月期 2Q	
		実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比
受注高	計測	604	△15.0%	676	+11.9%	811	+20.0%	777	△4.2%	1,099	+41.4%
	省エネ・創エネ	265	△28.8%	355	+34.0%	448	+26.2%	378	△15.6%	487	+28.8%
	脱臭	435	+4.6%	470	+8.0%	292	△37.9%	885	+203.1%	636	△28.1%
	水処理プラント	1,460	△9.5%	592	△59.5%	1,036	+75.0%	609	△41.2%	1,053	+72.9%
	医療	212	+14.0%	126	△40.6%	747	+492.9%	861	+15.3%	573	△33.4%
	メーカー (環境関連)	2,976	△9.8%	2,219	△25.4%	3,334	+50.2%	3,510	+5.3%	3,848	+9.6%
	エンジニアリング (水処理関連)	3,088	△39.7%	3,555	+15.1%	7,380	+107.6%	6,506	△11.8%	6,813	+4.7%
	商社 (風水力関連)	5,102	△2.5%	5,769	+13.1%	4,817	△16.5%	5,167	+7.3%	6,489	+25.6%
	合計	11,167	△18.2%	11,545	+3.4%	15,533	+34.5%	15,184	△2.2%	17,151	+13.0%
売上高	計測	750	+35.6%	656	△12.5%	496	△24.4%	688	+38.7%	768	+11.6%
	省エネ・創エネ	223	△43.5%	268	+20.2%	307	+14.6%	304	△1.0%	322	+5.9%
	脱臭	742	+58.2%	669	△9.8%	571	△14.6%	578	+1.2%	730	+26.3%
	水処理プラント	1,012	+17.5%	944	△6.7%	1,207	+27.9%	1,328	+10.0%	897	△32.5%
	医療	155	+11.5%	123	△20.6%	320	+160.2%	2,693	+741.6%	589	△78.1%
	メーカー (環境関連)	2,881	+19.1%	2,660	△7.7%	2,901	+9.0%	5,591	+92.7%	3,306	△40.9%
	エンジニアリング (水処理関連)	8,278	+20.4%	7,488	△9.5%	8,000	+6.8%	8,949	+11.9%	9,018	+0.8%
	商社 (風水力関連)	4,921	△3.4%	5,503	+11.8%	5,185	△5.8%	4,472	△13.8%	4,539	+1.5%
	合計	16,081	+11.7%	15,652	△2.7%	16,087	+2.8%	19,013	+18.2%	16,864	△11.3%
売上総利益	メーカー (環境関連)	1,269	+21.8%	1,062	△16.3%	1,175	+10.6%	2,494	+112.2%	1,416	△43.2%
	エンジニアリング (水処理関連)	2,237	+12.8%	2,047	△8.5%	2,371	+15.8%	2,825	+19.2%	2,838	+0.5%
	商社 (風水力関連)	917	△14.5%	1,146	+25.0%	1,255	+9.5%	1,143	△8.9%	1,183	+3.4%
合計	4,425	+7.9%	4,256	△3.8%	4,802	+12.8%	6,463	+34.6%	5,438	△15.9%	
販管費	2,676	△0.9%	2,705	+1.1%	2,819	+4.2%	3,191	+13.2%	3,215	+0.8%	
営業利益	1,749	+24.9%	1,551	△11.3%	1,982	+27.8%	3,271	+65.1%	2,222	△32.1%	
営業外収益	94		113		110		119		122		
営業外費用	43		33		29		57		35		
経常利益	1,800	+22.6%	1,631	△9.4%	2,062	+26.5%	3,334	+61.7%	2,309	△30.7%	
特別利益	-		-		-		338		140		
特別損失	-		-		28		26		21		
税引前利益	1,800	+22.6%	1,631	△9.4%	2,034	+24.7%	3,646	+79.3%	2,428	△33.4%	
四半期純利益	1,264	+20.4%	1,147	△9.2%	1,428	+24.5%	2,555	+78.9%	1,703	△33.3%	

業績推移（5か年一覧表、通期）

(単位：百万円)		18/12月期		19/12月期		20/12月期		21/12月期		22/12月期	
		実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	計画	前期比
受注高	計測	1,176	△20.0%	1,212	+3.1%	1,519	+25.3%	1,717	+13.0%	1,800	+4.8%
	省エネ・創エネ	583	△23.5%	600	+2.9%	642	+7.0%	739	+15.1%	1,300	+75.9%
	脱臭	1,372	△9.4%	1,189	△13.3%	987	△17.0%	1,197	+21.3%	1,200	+0.3%
	水処理プラント	2,222	△7.2%	2,138	△3.8%	2,094	△2.1%	2,110	+0.8%	2,200	+4.3%
	医療	270	△21.5%	189	△30.0%	3,729	+1873.0%	1,476	△60.4%	1,000	△32.2%
	メーカー（環境関連）	5,624	△13.3%	5,328	△5.3%	8,972	+68.4%	7,240	△19.3%	7,500	+3.6%
	エンジニアリング（水処理関連）	11,883	△21.6%	12,072	+1.6%	15,748	+30.5%	17,435	+10.7%	17,500	+0.4%
	商社（風水力関連）	9,992	+0.2%	10,818	+8.3%	9,278	△14.2%	10,338	+11.4%	11,000	+6.4%
	合計	27,500	△13.0%	28,220	+2.6%	34,000	+20.5%	35,014	+3.0%	36,000	+2.8%
売上高	計測	1,390	+11.5%	1,304	△6.2%	1,388	+6.4%	1,514	+9.1%	1,800	+18.9%
	省エネ・創エネ	572	△24.8%	734	+28.3%	689	△6.1%	590	△14.4%	1,300	+120.3%
	脱臭	1,588	+59.8%	1,118	△29.6%	1,016	△9.1%	1,023	+0.7%	1,200	+17.3%
	水処理プラント	1,454	△29.9%	1,784	+22.7%	2,629	+47.4%	2,033	△22.7%	2,200	+8.2%
	医療	393	+0.3%	356	△9.4%	1,733	+386.8%	3,402	+96.3%	1,000	△70.6%
	メーカー（環境関連）	5,397	△1.3%	5,296	△1.9%	7,456	+40.8%	8,563	+14.9%	7,500	△12.4%
	エンジニアリング（水処理関連）	14,167	+27.7%	12,544	△11.5%	13,155	+4.9%	14,683	+11.6%	16,500	+12.4%
	商社（風水力関連）	9,729	+1.9%	10,590	+8.8%	9,639	△9.0%	9,238	△4.2%	11,000	+19.1%
	合計	29,295	+12.2%	28,431	△2.9%	30,250	+6.4%	32,485	+7.4%	35,000	+7.7%
売上総利益	メーカー（環境関連）	2,108	△4.8%	2,105	△0.1%	3,011	+43.0%	3,803	+26.3%	3,150	△17.2%
	エンジニアリング（水処理関連）	3,621	+19.2%	3,355	△7.3%	3,752	+11.8%	4,403	+17.4%	4,950	+12.4%
	商社（風水力関連）	1,827	△7.7%	2,159	+18.2%	2,246	+4.0%	2,281	+1.6%	2,300	+0.8%
合計	7,557	+4.5%	7,621	+0.8%	9,010	+18.2%	10,489	+16.4%	10,400	△0.8%	
販管費	5,417	△1.8%	5,596	+3.3%	5,795	+3.6%	6,507	+12.3%	6,600	+1.4%	
営業利益	2,139	+24.6%	2,024	△5.4%	3,214	+58.8%	3,982	+23.9%	3,800	△4.6%	
営業外収益	211		210		209		230		200		
営業外費用	99		65		61		102		50		
経常利益	2,252	+21.8%	2,169	△3.7%	3,363	+55.0%	4,110	+22.2%	3,950	△3.9%	
特別利益	-		-		3		338		-		
特別損失	-		-		27		57		-		
税引前利益	2,252	+21.8%	2,169	△3.7%	3,339	+53.9%	4,392	+31.5%	3,950	△10.1%	
当期純利益	1,600	+18.3%	1,512	△5.5%	2,342	+54.9%	3,159	+34.9%	2,800	△11.4%	



本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。